第３６回　理　事　会

期日　２０２６年８月３１日（月）

会場　真宗大谷派宗務所

公益社団法人　大谷保育協会

１．成立報告

２．開会　真宗宗歌　斉唱

３．挨拶　参　務　　古賀　堅志

　　理事長　　古賀　成麿

４．議事録署名人選出

５．議案　第１号　２０２５年度事業報告の件

　　第２号　２０２５年度決算報告の件

　　第３号　内閣府への事業報告等に係る定期書類一式について

　　第４号　第１５回総会の開催について

　　第５号　任期満了に伴う理事及び監事候補者の選出について

６．報告事項

　　（１）理事長、副理事長、常務理事の職務の執行状況について

　　（２）会員の異動状況（2025 年度）

　　その他

７．挨拶

８．閉会　恩徳讃　斉唱

目　　次

ページ

【議案第１号】　２０２５年度事業報告
真宗保育理念・総合テーマ・事業総括 …… 1

Ⅰ　幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）
Ⅰ-１　調査研究事業 …… 4
（１）基礎研究
（２）臨床研究
Ⅰ-２　教材･書籍･研究誌頒布事業
（１）保育教材の頒布
（２）新教材の発行

Ⅱ　幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）
Ⅱ－１　研修事業 …… 6
（１）研究会・研修会事業
Ⅱ－２　資格認定事業 …… 8
（１）保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座
（２）保育心理士フォローアップ講座
（３）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催
（４）「保育心理士会賛助会員」の募集
（５）その他
Ⅲ　啓発・広報事業（公益目的事業） …… １０
（１） 機関誌等の配布
（２） 協会ウェブサイト　ホームページの運営
（３） 園児絵画展
（４） “こどものうた”事業
（５） 広報・課題発信の拡充
（６） 「子どもの森づくり運動」への参加
（７） 諸会議に関する事項

Ⅳ　加盟園交流事業（相互扶助等事業） …… １１
（１）人材発掘のための取り組み
（２）設置者・園長等研修会
（３）加盟園加入促進
（４）各種保育団体との渉外
（５）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携
（６）会報「大谷保育」の発行
（７）「加盟園就職支援ポスター」の発行について；
（８）その他事業

Ⅴ　管理部門 ……１２
（１） 管理業務の遂行
（２） 協会ＩＣＴ環境の維持、運営
（３） 採用情報の提供
（４） 協会をＰＲするパンフレット等の作成
（５） 加盟園情報の収集、管理
（６） 常務理事会に関する事項
（７） 役員会等に関する事項

【議案第２号】　２０２５年度決算報告 ……１４
①貸借対照表 ……１５
②正味財産増減計算書 ……１６
③正味財産増減計算書内訳表 ……１８
④財務諸表に対する注記 ……２１
⑤収支計算書（収支計算方式） ……２３
⑥財産目録 ……２５
⑦計算書類の附属明細書 ……２７
⑧減価償却資産の計算書（参考） ……２８
⑨会計３兄弟の検討（参考） ……２９
監査報告書 ……３０

【議案第３号】内閣府への事業報告等に係る定期提出書類一式について ……３１
【議案第４号】第１５回総会の開催について ……３２
【議案第５号】任期満了に伴う理事及び監事候補者の選出について ……３３
【報告事項１】理事長、副理事長、常務理事の職務の執行状況について ……３４
【報告事項２】会員の異動状況（２０２５年度） ……３５

2025年度事業報告

自　2025年7月1日　　至　2026年6月30日

【真宗保育理念】　「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】　「ともに生き　ともに育ちあう保育を実践しよう」

【基本認識】

当協会の事業は、全国419施設、約4万人の在園児とその保護者及び関係者が関わる保育現場において展開された。これらの事業は、真宗大谷派の青少幼年教化事業の流れを受け継ぎ、協会関係者に限定されることなく、広く社会に開かれた公益的な活動として実施した。

また、社会が大きく変化する状況の中にあって、あらためて「真宗保育」の理念に基づく協会の公益性を問い直し、その実現を課題として各種事業を展開した。

＜研修テーマ「あそぶ-環境を考える-」＞

「第20回全国真宗保育研修大会 in 東京」（2025年5月10日開催）において、新たな研修テーマ「あそぶ ― 環境を考える ―」を発表した本テーマの実践年度2年目として、研修を実施し、その普及に努めた。

＜保育心理士会の一層拡充＞

大谷保育協会が目指す、保育、幼児教育の具体的な内容として「真宗保育、心理学習を基本とした保育者の専門性の向上」がある。

一人ひとりの発達に合わせて、細やかに、子どもたちや保護者に向き合い、心のケアまでをカバーできる保育の専門家「保育心理士」を養成するための資格取得講座を広く公開し実施した。

なお、「保育心理士資格取得講座」は、厚生労働省が定める「保育士等キャリアアップ研修」の「障害児保育」及び「保護者支援・子育て支援」に位置付けて実施した。

【重点施策】

（１）『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

①『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

②真宗保育テキストの制作

真宗大谷派学校連合会と共同し、真宗保育テキストの制作を進めた。テキストの正式名称は『ともにそだちあういのち―真宗保育の願い―』に決定した。

校正も進み、９月には発刊の予定。

（２）「あそぶ-環境を考える-」をテーマとした研修計画の実践

研修テーマ「あそぶ-環境を考える-」を諸研修に通底するテーマとし、各連区・支部においても同テーマでの研修会の開催を奨励した。

（３）宗派の青少幼年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少幼年教化事業との連携をすすめた。

（４）宗派の定期刊行物等での課題発信

青少幼年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。まずは、宗派の定期刊行物などの機会を最大限に活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めていく。

（５）保育心理士の育成並びに活動支援の充実

①保育心理士の育成

「心に寄り添う保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、これまで 4,574 名の保育心理士を認定している。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には 3 年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

2025 年度は、対面形式に開催する京都会場、e ラーニング（ﾗｲﾌﾞ形式・ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ形式）での資格取得講座を開催した。

また、保育心理士エリアマネージャーと連携し、地方における保育心理士フォローアップ講座の開催を促した。

②保育心理士養成校の拡充

保育心理士（二種）養成課程を設置する大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【一種】同朋大学大学院

【二種】九州大谷短期大学、京都光華大学（前：京都光華女子大学）、同朋大学、飯田短期大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりをめざす。

【これまでに認定された都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

④保育心理士の活動の充実、および保育心理士各種手続きのIT化

エリアにおける保育心理士の活動支援の充実のため、保育心理会公式LINEサービズを利用し、保育士心理士エリアマネージャーと連携し、エリアにおけるフォローアップ講座の情報を保育心理士に届け、エリアにおける保育心理士の活動充実を図った。

また、これまで保育心理士の各種手続きのIT化を図り、事務手続きの効率化を図った。

Ⅰ　幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅰ－1　幼児教育及び保育に関する調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

（１）基礎研究

① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。

② 真宗大谷派学校連合会の加盟校（大谷大学・九州大谷短期大学・光華女子大学・同朋大学・大阪大谷大学・函館大谷短期大学・帯広大谷短期大学）の教員を交えて、真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち―真宗保育の願い―』の作成を進めた。

③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図った。

（２）臨床研究

① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第 18 回保育心理研究会

期　　日：2026 年 2 月 1 日（日）
会　　場：大谷大学
参 加 者：146 名
■記念講演：藤原里美 氏（一般社団法人チャイルドフッド・ラボ 代表理事）
■分科会
◆テーマ　寄り添う保育 ― 子どもに、保育者に ―
（１）子どもは１ミリも変えない ― 子ども理解に立つ保育　講師：藤原 里美 氏
（２）保育者の自己認知からひらく子ども理解　講師：谷口奈青理 氏
（３）保育者の協働性から育む子ども理解　講師：目黒 達哉 氏

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

Ⅰ　幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅰ－2　幼児教育及び保育に関する教材、書籍、研究誌の頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布した。

（１）保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形　しんらんさま	650 円	550 円	500	57
うでわ念珠　青　子ども用	250 円	176 円	1,000	868
うでわ念珠　青　大人用	250 円	163 円	1,000	214
うでわ念珠　青　大人用	250 円	184 円	1,000	1,000
うでわ念珠　ピンク　子ども用	250 円	154 円	1,000	446
うでわ念珠　ピンク　大人用	250 円	163 円		314
白念珠	180 円	160 円		974
念珠袋	320 円	302 円	1,000	887
おつとめちょう	100 円	91 円		3925
八女ちょうちん	240 円	207 円	189	0
しんしゅうこどもかれんだー	370 円	341 円	5,000	0
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円		731
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円		525
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円		1,054
お誕生シール〈慶讃記念教材〉	110 円	108 円		2,654
サガエさんにきいてみよう	1,650 円	753 円		554

（２）新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品の中から選定した作品を掲載し、『しんしゅうこどもかれんだー』を発行した。

Ⅱ　幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ－1　幼児教育及び保育関係者に対する研修会事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

各連区・支部において、協会の研修に通底する研修「あそぶ―環境を考える―」での研修開催を奨励した。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

（1）研究会・研修会事業

① 第 66 回仏教保育大学講座　事前学習会
期　　日：2025 年 7 月 14 日(月)
会　　場：真宗大谷派宗務所３階　第４・５会議室
参 加 者：仏教保育大学講座　指導員

② 第 66 回仏教保育大学講座
（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催）
対　　象：2 年目以上の保育者
期　　間：2025 年 8 月 1 日（金）～4 日（月）
会　　場：しんらん交流館・三木半旅館
講　　師：木越　康氏（大谷大学教授・大谷大学前学長）
　　髙木淳善氏（真宗保育研究所副所長・草津大谷保育園園長）
参加人数：63 名

③ 新任研修会
期　　間：2025 年 9 月 24 日（水）～26 日（金）
会　　場：真宗本廟、しんらん交流館、大谷大学湖西キャンパス
講　　師：脇淵爾良氏（大谷保育協会研修部員、いわのだこども園園長）
　　髙山　耕氏（大谷保育協会研修部長、認定こども園みのり園長）
対　　象：1 年目の保育者
参加人数：7 名

④ 主任・中堅保育者研修会
開催期日：2026 年 5 月 15 日（金）
開催方法：オンライン研修会（zoom）
講　　師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）
対　　象：主任・中堅保育者（保育経験５年以上）
参加人数：22 名
特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会
期　　間：2026 年 6 月 15 日（月）～16 日（火）
会　　場：山陽四国教務所・認定こども園船場御坊幼稚園・姫路船場別院
講　　師：冨岡量秀氏（大谷大学教授）
対　　象：設置者・園長・保育者

参加人数：30名
特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥　オンデマンド配信
『真宗保育』の普及・活用を図るため、専用の教材システム（オンデマンド配信プラットフォーム）を活用した研修の充実について検討を進めた。

（2）諸会議に関する事項

研修部会
期日：2026年9月1日（月）、2026年3月17日（火）
2026年5月15日（金）

Ⅱ　幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）
Ⅱ－2　幼児教育及び保育従事者に対する資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を開催した。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の６％ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

2013 年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、一種資格への切り替えや会費未納者に対し、納付促進の取り組みを図った。

また「保育士等キャリアアップ研修」（「障害児保育」・「保護者支援・子育て支援」）の実施団体として、保育心理士資格取得講座を開催した。

（１）保育心理士（一種）資格取得講座・フォローアップ講座

【本部主催資格取得講座】

①【京都会場】保育心理士（一種）資格取得講座

《第 1～5 日程・修了式日程》

開催期日：2025 年 7 月 26 日（土）、7 月 27 日（日）
9 月 6 日（土）、9 月 7 日（日）
10 月 11 日（土）、10 月 12 日（土）

形　　式：対面研修
会　　場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所
そ の 他：京都府保育等キャリアアップ指定

②【e ラーニング研修】保育心理士（一種）資格取得講座

e ラーニング研修（オンデマンド研修・集合型研修（ＺＯＯＭ））の保育心理士取得講座を開催した。

≪オンデマンド研修≫

期　間：2025 年 9 月 15 日から 11 月 30 日

≪集合型研修（ＺＯＯＭ）≫

期　日：2025 年 10 月 4 日（土）、11 月 8 日（土）、12 月 6 日（土）

③保育心理士フォローアップ講座（オンライン）

①講　　師：佐賀枝 夏文 氏（大谷大学名誉教授）
講　　題：さまざまな心理療法－現場での考え方と使い方
日　　時：2026 年 5 月 9 日（土）10：00～11：30
参加人数：86 名

②講　　師：譲 西賢 氏（岐阜聖徳大学名誉教授）
講　　題：保護者・保育士との円満な人間関係
－コミュニケーションの深まり－
日　　時：2026 年 5 月 9 日（土）13：00～14：30
参加人数：68 名

③講　　師：牧野 桂一 氏（保育心理士会代表・大分こども発達支援研究所長）
講　　題：配慮が必要な保護者の支援のあり方

日　　時：2026 年 5 月 23 日（土）10：00～11：30
参加人数：71 名
④講　　師：雫石 弘文氏（別府大学非常勤講師）
講　　題：気になる子どもの支援に係る保護者・若手保育者への対応
日　　時：2026 年 5 月 23 日（土）13：00～14：30
参加人数：66 名

（２）保育心理士フォローアップ講座（エリア・連区・支部）

５年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催した。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

（３）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

（４）「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000 円		
二種会員	3,000 円		
賛助会員（個人・法人）	3,000 円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

（５）その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】
期　　日：2026 年 3 月 2 日（月）、3 月 25 日（水）
会　　場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第 18 回保育心理研究会と併催
期　　日：2026 年 2 月 1 日
会　　場：大谷大学

【保育心理士会幹事会】
期　　日：2025 年 7 月 18 日（金）、2025 年 8 月 27 日（水）
2025 年 9 月 18 日（木）、2026 年 1 月 31 日（土）
2026 年 3 月 12 日（木）、2026 年 4 月 28 日（木）
※4 月 28 日（木）は、研修部との合同会議

② 保育心理士（二種）養成校との協議会
期　　日：2026 年 3 月 25 日（水）
開催形式：オンライン会議（zoom）

Ⅲ　幼児教育及び保育に関する一般社会への啓発啓蒙事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

（１）機関誌等の配布

① 月刊誌『真宗保育』を頒布する。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。

② 機関誌『ほいくしんり』（協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。

（２）協会ウェブサイト　ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねた。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図った。

（３）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画作品を公募し、すべての応募作品を御正忌報恩講の期間にあわせて展示した。

期　　間：2025 年 11 月 14 日（金）～11 月 28 日（金）正午まで
会　　場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
　　京都駅公益地下ストリートギャラリー
対　　象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児
展 示 数：408 点

（４）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編 CD アルバム（2021 年 11 月発行、全 8 曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報した。

（５）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、加盟園８ケ園が参加）

（７）諸会議に関する事項

広報部会
期日：2025 年 10 月 2 日（木）、2025 年 11 月 27 日（木）、2026 年 4 月 23 日（木）

Ⅳ　共益事業　加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。

（１）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（２）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

（３）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（４）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（５）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月１回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（６）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターを制作した。

（７）その他事業

①　表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園より報告を受け、感謝状を送付した。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送った。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ通知した。

②　入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③　各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

Ⅴ　管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）業務を遂行し、組織運営の安定及び諸活動の円滑な実施を支えた。あわせて、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開するなど、当協会の活動を広く社会に周知した。

（１）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

（２）協会ＩＣＴ環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報について、電子公告等により適切に公開し、社会的責任を果たした。また、協会の ICT インフラの維持・運営及び協会保有データの保全に努め、機密性の維持を図るとともに、必要に応じて改善を行った。

さらに、社会的状況を踏まえ、オンラインによる会議、研修、広報等の実施について、各部門が連携しながら試行し、新たな事業展開の可能性を検討した。

（３）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士及び保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校の学生を対象に、協会加盟園の採用情報をポスター及びホームページ等を活用して提供した。真宗大谷派学校連合会加盟校との連携を深めながら事業に取り組み、人材確保の推進に努めた。

（４）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き及び入会手続きの機会を活用し、加盟園情報の正確な収集及び管理を行った。また、定期的に加盟園名簿の更新を行い、情報の正確性の維持に努めた。

（５）常務理事会に関する事項

期日：2025 年 10 月 27 日（月）、2025 年 12 月 23 日（火）
2026 年 6 月 1 日（月）
※2026 年 6 月 1 日は、正副理事長会として開催

（６）役員会等に関する事項

①　理事会に関する事項

ア. 第３４回（事業報告・決算承認）
期　　日：2025 年 8 月 22 日（金）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第１４回定時総会
期　　日：2025 年 9 月 11 日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第３５回（次年度予算・事業計画）
期　　日：2026 年 5 月 12 日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもＷＥＢ会議（ＺＯＯＭ使用）にて開催する。

（８）諸会議に関する事項

①正副部所長会
年間活動計画の策定と活動状況の報告を行った。
期日：2026 年 4 月 14 日（火）

② 総務部会

期日：2025 年 10 月 21 日（水）、2025 年 12 月 8 日（月）
2026 年 12 月 27 日（火）、2026 年 3 月 17 日（火）

公益社団法人 大谷保育協会

2025年度決算資料

2025年7月1日～2026年6月30日

①貸借対照表

②正味財産増減計算書

③正味財産増減計算書内訳表

④財務諸表に対する注記

⑤収支計算書（増減計算方式）

⑥財産目録

⑦計算書類の附属明細書

⑧減価償却資産の計算書（ご参考）

⑨会計３兄弟の検討（ご参考）

貸借対照表

2026年　6月　30日　現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	26,363,366	28,737,268	△2,373,902
未収金	562,260	374,780	187,480
前払金	45,100	417,340	△372,240
棚卸資産	3,177,670	4,623,561	△1,445,891
流動資産合計	30,148,396	34,152,949	△4,004,553
2 固定資産			
(1) 特定資産			
投資有価証券	20,000,000	20,000,000	0
寄付金受入特定資産	7,030,700	7,332,440	△301,740
特定資産合計	27,030,700	27,332,440	△301,740
(2) その他固定資産			
什器備品	108,171	4	108,167
その他固定資産合計	108,171	4	108,167
固定資産合計	27,138,871	27,332,444	△193,573
資産合計	57,287,267	61,485,393	△4,198,126
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	998,695	999,938	△1,243
前受金	0	1,272,000	△1,272,000
預り金	88,430	102,959	△14,529
流動負債合計	1,087,125	2,374,897	△1,287,772
負債合計	1,087,125	2,374,897	△1,287,772
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	7,030,700	7,332,440	△301,740
指定正味財産合計	7,030,700	7,332,440	△301,740
(内特定資産への充当額)	(7,030,700)	(7,332,440)	(△301,740)
2 一般正味財産	49,169,442	51,778,056	△2,608,614
(内特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
正味財産合計	56,200,142	59,110,496	△2,910,354
負債及び正味財産合計	57,287,267	61,485,393	△4,198,126

正味財産増減計算書

2025 年　7 月　1 日から　2026 年　6 月　30 日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(39,000)	(39,000)	(0)
特定資産受取利息	39,000	39,000	0
② 受取会費	(15,285,350)	(15,456,960)	(△171,610)
正会員受取会費	8,110,000	8,210,000	△100,000
特別会員受取会費	6,625,350	6,676,960	△51,610
賛助会員受取会費	550,000	570,000	△20,000
③ 事業収益	(18,215,037)	(12,449,072)	(5,765,965)
研修会講座収益	8,498,950	2,051,500	6,447,450
教材等頒布収益	4,682,787	3,717,222	965,565
心理士認定収益	5,033,300	6,680,350	△1,647,050
④ 受取寄付金	(1,301,740)	(4,295,490)	(△2,993,750)
受取寄付金振替額	1,301,740	4,295,490	△2,993,750
⑤ 雑収益	(854,773)	(1,175,401)	(△320,628)
受取利息	24,966	3,517	21,449
雑収益	829,807	1,171,884	△342,077
経常収益計	35,695,900	33,415,923	2,279,977
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費	(33,543,289)	(30,785,582)	(2,757,707)
給料手当	4,725,344	4,400,162	325,182
福利厚生費	781,166	565,132	216,034
会議費	1,016,295	313,637	702,658
旅費交通費	6,118,801	2,641,903	3,476,898
通信運搬費	3,033,345	3,028,072	5,273
減価償却費	0	28,833	△28,833
消耗品費	138,116	109,377	28,739
印刷製本費	7,905,089	6,703,177	1,201,912
頒布品費	1,808,777	826,240	982,537
賃借料	155,700	697,735	△542,035
諸謝金	3,199,309	2,483,700	715,609
租税公課	516,300	236,000	280,300
支払寄付金	0	4,295,490	△4,295,490
委託費	3,231,740	3,582,750	△351,010
支払手数料	868,204	751,615	116,589
雑費	45,103	121,759	△76,656
事業費計	33,543,289	30,785,582	2,757,707

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
給料手当	525,048	488,922	36,126
福利厚生費	86,798	62,795	24,003
会議費	103,600	93,000	10,600
旅費交通費	1,458,894	1,642,656	△183,762
通信運搬費	627,035	493,619	133,416
減価償却費	21,633	0	21,633
消耗品費	47,227	124,496	△77,269
印刷製本費	565,565	383,350	182,215
租税公課	33,000	36,300	△3,300
委託費	971,300	909,700	61,600
支払手数料	290,416	296,187	△5,771
雑費	30,709	56,386	△25,677
管理費計	4,761,225	4,587,411	173,814
経常費用計	38,304,514	35,372,993	2,931,521
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,608,614	△1,957,070	△651,544
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,608,614	△1,957,070	△651,544
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△2,608,614	△1,957,070	△651,544
当期一般正味財産増減額	△2,608,614	△1,957,070	△651,544
一般正味財産期首残高	51,778,056	53,735,126	△1,957,070
一般正味財産期末残高	49,169,442	51,778,056	△2,608,614
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 受取寄付金	(1,000,000)	(2,354,429)	(△1,354,429)
受取寄付金	1,000,000	2,354,429	△1,354,429
② 一般正味財産への振替額	(△1,301,740)	(△4,295,490)	(2,993,750)
一般正味財産への振替額	△1,301,740	△4,295,490	2,993,750
当期指定正味財産増減額	△301,740	△1,941,061	1,639,321
指定正味財産期首残高	7,332,440	9,273,501	△1,941,061
指定正味財産期末残高	7,030,700	7,332,440	△301,740
Ⅲ 正味財産期末残高	56,200,142	59,110,496	△2,910,354

正味財産増減計算書内訳表

2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計		
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 特定資産運用益	(0)	(0)	(39,000)	(0)	(39,000)		
特定資産受取利息	0	0	39,000	0	39,000		
② 受取会費	(12,283,280)	(146,860)	(2,855,210)	(0)	(15,285,350)		
正会員受取会費	6,488,000	146,860	1,475,140	0	8,110,000		
特別会員受取会費	5,300,280	0	1,325,070	0	6,625,350		
賛助会員受取会費	495,000	0	55,000	0	550,000		
③ 事業収益	(18,215,037)	(0)	(0)	(0)	(18,215,037)		
研修会講座収益	8,498,950	0	0	0	8,498,950		
教材等頒布収益	4,682,787	0	0	0	4,682,787		
心理士認定収益	5,033,300	0	0	0	5,033,300		
④ 受取寄付金	(1,301,740)	(0)	(0)	(0)	(1,301,740)		
受取寄付金振替額	1,301,740	0	0	0	1,301,740		
⑤ 雑収益	(63,000)	(0)	(791,773)	(0)	(854,773)		
受取利息	0	0	24,966	0	24,966		
雑収益	63,000	0	766,807	0	829,807		
経常収益計	31,863,057	146,860	3,685,983	0	35,695,900		
(2) 経常費用							
① 事業費							
事業経費	(33,396,429)	(146,860)	(0)	(0)	(33,543,289)		
給料手当	4,725,344	0	0	0	4,725,344		
福利厚生費	781,166	0	0	0	781,166		
会議費	1,016,295	0	0	0	1,016,295		
旅費交通費	6,118,801	0	0	0	6,118,801		
通信運搬費	2,986,439	46,906	0	0	3,033,345		
消耗品費	119,948	18,168	0	0	138,116		
印刷製本費	7,905,089	0	0	0	7,905,089		
頒布品費	1,754,591	54,186	0	0	1,808,777		
賃借料	155,700	0	0	0	155,700		
諸謝金	3,199,309	0	0	0	3,199,309		
租税公課	516,300	0	0	0	516,300		
委託費	3,231,740	0	0	0	3,231,740		
支払手数料	867,104	1,100	0	0	868,204		

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計		
雑費	18,603	26,500	0	0	45,103		
事業費計	33,396,429	146,860	0	0	33,543,289		
② 管理費							
給料手当	0	0	525,048	0	525,048		
福利厚生費	0	0	86,798	0	86,798		
会議費	0	0	103,600	0	103,600		
旅費交通費	0	0	1,458,894	0	1,458,894		
通信運搬費	0	0	627,035	0	627,035		
減価償却費	0	0	21,633	0	21,633		
消耗品費	0	0	47,227	0	47,227		
印刷製本費	0	0	565,565	0	565,565		
租税公課	0	0	33,000	0	33,000		
委託費	0	0	971,300	0	971,300		
支払手数料	0	0	290,416	0	290,416		
雑費	0	0	30,709	0	30,709		
管理費計	0	0	4,761,225	0	4,761,225		
経常費用計	33,396,429	146,860	4,761,225	0	38,304,514		
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,533,372	0	△1,075,242	0	△2,608,614		
評価損益等計	0	0	0	0	0		
当期経常増減額	△1,533,372	0	△1,075,242	0	△2,608,614		
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0		
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	0	0		
税引前当期一般正味財産増減額	△1,533,372	0	△1,075,242	0	△2,608,614		
当期一般正味財産増減額	△1,533,372	0	△1,075,242	0	△2,608,614		
一般正味財産期首残高	10,089,083	0	41,688,973	0	51,778,056		
一般正味財産期末残高	8,555,711	0	40,613,731	0	49,169,442		
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
① 受取寄付金	(1,000,000)	(0)	(0)	(0)	(1,000,000)		
受取寄付金	1,000,000	0	0	0	1,000,000		
② 一般正味財産への振替額	(△1,301,740)	(0)	(0)	(0)	(△1,301,740)		
一般正味財産への振替額	△1,301,740	0	0	0	△1,301,740		

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計		
当期指定正味財産増減額	△301,740	0	0	0	△301,740		
指定正味財産期首残高	7,282,440	50,000	0	0	7,332,440		
指定正味財産期末残高	6,980,700	50,000	0	0	7,030,700		
Ⅲ 正味財産期末残高	15,536,411	50,000	40,613,731	0	56,200,142		

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・取得価額

（2）棚卸資産の評価基準及び評価方法

・・・最終仕入原価法による低価法

（3）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

（4）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
投資有価証券	20,000,000	0	0	20,000,000
寄付金受入特定資産	7,332,440	1,000,000	1,301,740	7,030,700
合　計	27,332,440	1,000,000	1,301,740	27,030,700

3．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

科　目	当期末残高	うち基金からの充当額	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
特定資産					
一般特定資産・投資有価証券	20,000,000	0	0	(20,000,000)	0
寄付金受入特定資産①	919,930	0	(919,930)	0	0
寄付金受入特定資産②	138,081	0	(138,081)	0	0
寄附金受入特定資産③	1,698,260	0	(1,698,260)	0	0
寄附金受入特定資産④	920,000	0	(920,000)	0	0
寄付金受入特定資産⑤	2,354,429	0	(2,354,429)	0	0
寄付金受入特定資産⑥	1,000,000	0	(1,000,000)	0	0
合　計	27,030,700	(0)	(7,030,700)	(20,000,000)	(0)

4．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	865,576	757,405	108,171
ソフトウェア	2,693,460	2,693,460	0
合　計	3,559,036	3,450,865	108,171

5．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　価	評価損益
大阪府公募公債	20,000,000	19,700,000	△300,000
合　計	20,000,000	19,700,000	△300,000

6．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

内　容	金　額
経常収益への振替額	0
目的使用による振替額	1,301,740
合　計	1,301,740

収支計算書

2025 年　7 月　1 日から　2026 年　6 月　30 日まで

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	(39,000)	(39,000)	(0)	
特定資産受取利息	39,000	39,000	0	
② 受取会費	(15,210,000)	(15,285,350)	(Δ75,350)	
正会員受取会費	8,110,000	8,110,000	0	
特別会員受取会費	6,580,000	6,625,350	Δ45,350	
賛助会員受取会費	520,000	550,000	Δ30,000	
③ 事業収益	(17,870,000)	(18,215,037)	(Δ345,037)	
研修会講座収益	8,130,000	8,498,950	Δ368,950	
教材等頒布収益	4,500,000	4,682,787	Δ182,787	
心理士認定収益	5,240,000	5,033,300	206,700	
④ 受取寄付金	(2,923,300)	(1,301,740)	(1,621,560)	
受取寄付金振替額	2,923,300	1,301,740	1,621,560	
⑤ 雑収益	(800,000)	(854,773)	(Δ54,773)	
受取利息	10,000	24,966	Δ14,966	
雑収益	790,000	829,807	Δ39,807	
経常収益計	36,842,300	35,695,900	1,146,400	
(2) 経常費用				
① 事業費				
事業経費	(34,260,000)	(33,543,289)	(716,711)	
給料手当	4,680,000	4,725,344	Δ45,344	
福利厚生費	780,000	781,166	Δ1,166	
会議費	950,000	1,016,295	Δ66,295	
旅費交通費	6,000,000	6,118,801	Δ118,801	
通信運搬費	2,970,000	3,033,345	Δ63,345	
消耗品費	160,000	138,116	21,884	
印刷製本費	7,680,000	7,905,089	Δ225,089	
頒布品費	1,440,000	1,808,777	Δ368,777	
賃借料	130,000	155,700	Δ25,700	
諸謝金	4,690,000	3,199,309	1,490,691	
租税公課	540,000	516,300	23,700	
委託費	3,360,000	3,231,740	128,260	
支払手数料	850,000	868,204	Δ18,204	
雑費	30,000	45,103	Δ15,103	
事業費計	34,260,000	33,543,289	716,711	
② 管理費				
給料手当	520,000	525,048	Δ5,048	
福利厚生費	87,000	86,798	202	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
会議費	190,000	103,600	86,400	
旅費交通費	1,440,000	1,458,894	△18,894	
通信運搬費	560,000	627,035	△67,035	
減価償却費	22,000	21,633	367	
消耗品費	48,000	47,227	773	
印刷製本費	570,000	565,565	4,435	
租税公課	60,000	33,000	27,000	
委託費	970,000	971,300	△1,300	
支払手数料	310,000	290,416	19,584	
雑費	40,000	30,709	9,291	
管理費計	4,817,000	4,761,225	55,775	
経常費用計	39,077,000	38,304,514	772,486	
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,234,700	△2,608,614	373,914	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△2,234,700	△2,608,614	373,914	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△2,234,700	△2,608,614	373,914	
当期一般正味財産増減額	△2,234,700	△2,608,614	373,914	
一般正味財産期首残高	51,778,056	51,778,056	0	
一般正味財産期末残高	49,543,356	49,169,442	373,914	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
① 受取寄付金	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	
② 一般正味財産への振替額	(△2,923,300)	(△1,301,740)	(△1,621,560)	
一般正味財産への振替額	△2,923,300	△1,301,740	△1,621,560	
当期指定正味財産増減額	△1,923,300	△301,740	△1,621,560	
指定正味財産期首残高	7,332,440	7,332,440	0	
指定正味財産期末残高	5,409,140	7,030,700	△1,621,560	
Ⅲ 正味財産期末残高	54,952,496	56,200,142	△1,247,646	

財　産　目　録

2026 年　6 月 30 日 現在　　（単位：円）

科　目	場　所　等	物量	使用目的等	金　額
Ⅰ資産の部				
1 流動資産				
現金・預金				
現金	手元保管		運転資金として	236,713
普通預金	福井銀行　京都支店＃0031940			3,500,546
	福井銀行　京都支店＃0092423			2,385
	福井銀行　京都支店＃0104080			4,835
定期預金	福井銀行　京都支店＃3101743			10,308,764
郵便貯金	郵便振替口座＃01020-4-11705			4,997,996
	郵便振替口座＃00980-8-182714			7,174,046
	郵便振替口座＃01000-0-19739			138,081
未収金	正会員費			340,000
	特別会員費			222,260
前払金	上手くんαProⅡライセンス料			17,600
	配信プラットフォーム料			27,500
棚卸資産	頒布品			896,059
	印刷製本			2,281,611
流動資産合計				30,148,396
2 固定資産				
(1)特定資産				
投資有価証券	大阪府公募公債　第425回		満期保有目的で保有し、運用益を本部	20,000,000
	R9年10月29日償還		管理費の財源として使用している。	
寄付金受入特定資産	間野先生寄付分		公益目的869,930円、共益目的50,000	919,930
	福井銀行定期預金＃3101743			
	義援金分		公益目的	138,081
	福井銀行定期預金＃3101743			
	学校法人映徳学園寄付分		公益目的	1,698,260
	福井銀行定期預金＃3101743			
	全国大会寄付分		公益目的	920,000
	福井銀行定期預金＃3101743			
	仏教保育大学講座寄付分		公益目的	2,354,429
	福井銀行普通預金＃104080			
	真宗大谷派学校連合会寄付分		公益目的	1,000,000
	福井銀行普通預金＃31940			
特定資産合計				27,030,700
(2)その他固定資産				
什器備品	ＰＣ4台、iPhone			108,171
その他固定資産合計				108,171
固定資産合計				27,138,871
資産合計				57,287,267
Ⅱ負債の部				
1 流動負債				
未払金	山市商事　真宗保育発送料			133,593
	山市商事　教材発送料			6,303
	ヤマグチ八女ちょうちん調整			18,508
	支部研修会委託費			30,000
	カリキュラム研修会謝礼旅費等			192,260
	Fネコサービス利用料			38,841
	JCB　STORES.JP他			28,790
	IB手数料			1,100
	消費税等			549,300
預り金	源泉税			70,230
	住民税			18,200

（単位：円）

科目	場所等	物量	使用目的等	金額
流動負債合計				1,087,125
負債合計				1,087,125
正味財産				56,200,142

附　属　明　細　書

2025年7月1日から2026年6月30日まで

（1）基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりです。

（2）引当金の明細

該当事項はありません。

減価償却資産の計算書

（ 科目別明細書 ）

公益社団法人　大谷保育協会
法人 （ 定率法 ）

自　令和 7年 7月 1日
至　令和 8年 6月30日

科目・品目	減価償却資産の名称	数量 供用年月	耐用年数 償却率	取得価額 圧縮後取得価額	期首帳簿価額 償却基礎・改定額	当期増加金額 当期減少金額	償却月数	普通償却限度額 特別償却限度額	普通償却過不足 特別償却過不足	普通償却額 特別償却額	当期償却額	期末帳簿価額 期末償却累計額	摘要
科目　80	【 器具及び備品 】												
80-00004	事務用ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟPC VivoMini	1 令和02.01	4 1.000	187,880	1 35,228		12					1 187,879	AR
00005	事務用ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟPC VivoMini	1 令和02.01	4 1.000	187,880	1 35,228		12					1 187,879	AR
00006	事務用ノートPC LIFEBOOK	1 令和02.01	4 1.000	206,236	1 38,670		12					1 206,235	AR
00007	WEB配信用MicrosoftSufacePro8 公益事業費（保育心理士）	1 令和04.01	4 1.000	153,780	1 28,834		12					1 153,779	AR
00008	事務局iPhone17	1 令和08.03	4 0.500	129,800	129,800	129,800	4	21,633		21,633	21,633	108,167 21,633	C
	＊科 目 小 計＊ ＴＯＴＡＬ　5			865,576 865,576	4 267,760	129,800		21,633		21,633	21,633	108,171 757,405	
科目　90	【 無形固定資産 】												
90-00001	日本ＩＣＳ　公益法人ソフト	1 平成23.01	5 0.200	210,000	210,000		12					210,000	A 定額法
00002	保育心理士システム　公益事業費	1 平成28.04	5 0.200	2,483,460	2,483,460		12					2,483,460	A 定額法
	＊科 目 小 計＊ ＴＯＴＡＬ　2			2,693,460 2,693,460	2,693,460							2,693,460	
	＊＊ 総 合 計 ＊＊ ＴＯＴＡＬ　7			3,559,036 3,559,036	4 2,961,220	129,800		21,633		21,633	21,633	108,171 3,450,865	

【 分別区分 】 A-償却済 B-期中減少 C-期中増加 D-増加償却 E-特別償却A F-特別(即時) G-割増償却A H-割増償却B I-当期超過 J-当期不足 K-圧縮記帳 L-部分減少 M-当期非償却 N-前期超過 O-前期不足 P-移動
Q-旧済5年均等 R-改定償却 S-資本的支出 T-短縮・中古 U-遊休 V-相続・合併 W-翌繰超過 X-翌繰不足 Y-減損資産 Z-分割

・会計３兄弟の検討

①収支相償	R6年度 (R7年6月期)	R7年度 (R8年6月期)
公益事業収入(A)	25,538,489	31,863,057
公益事業支出(B)	25,749,439	33,396,429
収支差額(A－B)	△210,950	△1,533,372
判定結果	○	○
	※当期は特別会費85%、正会費80%、賛助会費90%を公益事業へ繰入れた。	※当期は特別会費80%、正会費80%、賛助会費90%を公益事業へ繰入れた。

②公益目的事業比率	R6年度 (R7年6月期)	R7年度 (R8年6月期)
公益事業支出(C)	25,749,439	33,396,429
経常費用計(D)	35,372,993	38,304,514
支出割合(C/D)	72.79%	87.19%
判定結果	○	○

③使途不特定財産額の保有制限	R6年度 (R7年6月期)	R7年度 (R8年6月期)
資産総額(E)	61,485,393	57,287,267
控除対象負債(F)	1,497,790	654,495
控除対象財産(G)	27,332,440	27,030,700
使途不特定財産額(E-F-G)	32,655,163	29,602,072
【新】保有制限額(過去5年平均C)	-	24,773,337
(旧)保有制限額(当年C)	25,749,439	33,396,429
判定結果	×	△
	※公益事業支出1年間分が上限。上限オーバー	※公益事業支出過去5年平均が上限。上限オーバー 例外適用で当年Cなら○

控除対象負債の計算(参考)		
負債総額(1)	2,374,897	1,087,125
特定資産(2)	20,000,000	20,000,000
指定正味財産(3)	7,332,440	7,030,700
一般正味財産(4)	51,778,056	49,169,442
控除不可負債(2×1／(1+4))	877,107	432,630
控除対象負債の計算(1－上記)	1,497,790	654,495

監査報告書

公益社団法人 大谷保育協会
代表理事　古賀　成麿　様

私たち監事は、本法人の2025年度(2025年7月1日から2026年6月30日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書ならびに会計帳簿等の調査を行い、事業報告及びその附属明細書、ならびに計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表、附属明細書の監査を実施しました。

監査結果

（1）　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

（2）　会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。

（3）　計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。

（4）　理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以　上

２０２６年８月５日

公益社団法人大谷保育協会

監事　橋川昌治

監事　柴田正次郎

【議案第３号】
第 36 回理事会 2026 年 8 月 31 日

【議案第３号】内閣府への事業報告等に係る定期提出書類一式について

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第２２条第１項の定めにより、公益法人は、毎事業年度経過後３か月以内に、事業報告等に係る提出書類を行政庁に提出することになっております。

つきましては、第１号議案及び第２号議案の事業報告、決算報告書類をもって、内閣府への定期提出書類として提出いたしたくご承認ください。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

（財産目録等の提出及び公開）

第二十二条　公益法人は、毎事業年度の経過後三箇月以内（前条第一項に規定する書類については、毎事業年度開始の日の前日まで）に、内閣府令で定めるところにより、財産目録等（定款を除く。）を行政庁に提出しなければならない。

２　行政庁は、公益法人から提出を受けた財産目録等について閲覧又は謄写の請求があった場合には、内閣府令で定めるところにより、その閲覧又は謄写をさせなければならない。

３　前項の規定にかかわらず、行政庁は、役員等名簿又は社員名簿について同項の請求があった場合には、これらに記載された事項中、個人の住所に係る記載の部分を除外して、その閲覧又は謄写をさせるものとする。

【議案第４号】第１５回総会の開催について

このたび、「第１５回総会」について、下記のとおり開催いたしたく提案いたします。

記

公益社団法人大谷保育協会 第１５回総会
日　　時：２０２６年９月１５日（火）午後１時３０分から
開催形式：WEB 会議（ZOOM）にて開催
特記事項：本年度より定時総会に併せ、研修会を実施する

日付	時間・場所	会議名	案件	備考
9月15日(火)	10：00～11：30	真宗保育研修会	真宗保育テキストについて 講師：田村 晃徳 氏	
	13：30～15：30（予定） 【開催形式：WEB 会議】	第 15 回総会	【議案】 ①　2025 年度決算について ②　新理事・監事の選任について ③　諸規定の制定・改正について ④　その他 【報告事項】 ①　2026 年度収支予算・事業報告 ②　諸規定の制定・改正について ③　その他	
	総会終了【これにより現理事は任期満了になり、総会で選出された理事が就任】			
	総会終了引き続き 【開催形式：WEB 会議】	臨時理事会	①理事長の選任 ②副理事長・常務理事の選任 ③正副部所長の選任	新理事による理事会
	※臨時理事会終了後、正会員には FAX にて「執行部の報告」を行う			
	18:30～20：30（予定）	情報交換会		

※網掛け部分が総会日程
　便宜上、臨時理事会の日程についても記載しております。

以　上

議案第５号　任期満了に伴う理事及び監事候補者の選出について

来る9月15日開催の定時総会において任期満了に伴う理事及び監事の選任についてお諮りする予定でございます。理事及び監事の選任ついては、定款第１３条により総会において行うことが規定されており、定時総会に先立ち、その候補者についてご承認いただきたく提案いたします。
任期：2026年9月15日開催の定時総会終結時から2028年定時総会終結時まで

		定数	現行理事数	内訳	種別		
					支部長	連区推薦	その他
北海道	北海道	2	2	2	吉田　幸麿	鈴木　啓介	
東日本	東北	8	8	4	今西　界雄	藤山　祐一	
						井上美和子	
						木村　　敏	
	東京			2	田村　晃徳	五島　　満	
	新潟			2	安藤　栄寿	老野生一義	
北陸	高岡	6	6	1	安居　　登		
	能登			1	藤山　壱史		
	金沢			2	和田　卓也	菊田　千春	
	小松			1	遠州　　賢		
	福井			1	今川　恒弘		
東海	岐阜高山	9	9	2	里雄　敬意	佐々木真元	
	大垣			2	脇淵　竜舟	家村　景子	
	岡崎			2	安田　寛武	三浦　良見	
	名古屋			2	佐治　　慶	祖父江佳乃	
	三重			1		河村　純正	
近畿	長浜	7	7	0			
	京都			3	清田　元裕	椋田　隆知 藤谷　博紀	
	大阪			2	田原　宏章	頼尊　知宗	
	山陽			2	三須　　誠	藤原　成道	
	四国			0			
九州	日豊	10	10	2	長川　良顯	髙山　　耕	
	久留米			2	藤岡　　格	古賀　成麿	
	長崎			2	長野　信楽	武宮　真紹	
	熊本			2	清谷　尚史	鷲尾　　天	
	鹿児島			2	音羽　信雄	日谷　淨邦	
宗派		2	2	2	古賀　堅志	日野　隆文	
特別選定枠		6	4	4			
合計		50	48	48			

監事		2	2	2			
合計		2	2	2			

職務執行の報告　**理事長、副理事長、常務理事の執行状況について**

定款第２４条第５項の規定により、下記のとおり理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況について報告いたします。

日付	場所	案　件
2026 年 6 月 1 日		正副理事長会 ◆新体制について
2026 年 7 月 5 日	浄土真宗本願寺派 伝道本部 オンライン会議	第 67 回仏教保育大学講座事前学習会 （古賀理事長・髙山耕常務理事出席）
2026 年 7 月 27 日	真宗大谷派宗務所 オンライン会議	仏教保育大学講座運営に関する協議会 （古賀理事長・髙山耕常務理事出席）
2026 年 7 月 28 日	真宗大谷派宗務所	常務理事会 ◆新体制について ◆理事会案件について ◆2026 年事業について
2026 年 8 月 6 日	真宗大谷派宗務所	業務・会計監査 （古賀理事長・椋田敏史常務理事出席）

報告事項２　　会員の異動状況

会員種別	会　　員　　数		増減
	2025(令和7年)年7月1日現在	2026(令和8年)年6月30日現在	
正会員数	420	419	−1
特別会員	1	1	0
賛助会員	25	25	0
合計	446	445	−1

【正会員移動内訳】
退会:5園
入会:1園
統合：２園

【退会】

園名	事由
認定こども園川辺幼稚園(鹿児島支部)	運営上の都合により
そらいろ保育園（東北支部）	運営上の都合により
しびこども園（鹿児島支部）	休園により
新潟中央幼稚園(新潟支部)	閉園により
吉利保育園(鹿児島支部)	閉園により

【入会】

園名	事由
九州大谷ひまわりらんど（久留米支部）	第34回理事会2025年8月22日承認

【統合】

園名	事由
九州大谷ひまわりらんど（久留米支部）	4/1　幼稚園型認定こども園九州大谷幼稚園と統合のため
みのり園(京都支部)	4/1　共栄保育園（認定こども園）と統合のため